

『呉キャンパス市民交流フェスタ』プロジェクト

提案団体：beCorps

代 表 者：薬学科 3年 平町 隆明

顧 問：医療栄養学科 教授 森 信博

実施計画

実施期間 2014年10月26日（日）13：00～15：00

奨励金額 497,880円

活動目的 地域での活動団体の発表の場を作り、多くの来場者にお越しいただくことで、地域交流を深める。

達成目標 地域の方々参画型の呉キャンパス市民交流フェスタを開催し、地域交流を深める。来場者数は、150名以上を目指す。

計画概要 2014年10月26日（日）に、呉市内の保育園の園児から高齢者まで幅広い年代の方々に音楽等を発表いただく呉キャンパス市民交流フェスタを開催する。

活動・成果報告

呉キャンパス市民交流フェスタを10月26日（日）13:00～15:00の間、広島国際大学呉キャンパスメディアホールにて開催した（大学祭と同時開催）。

①名田保育園 名田太鼓（年長組） ②広島県立呉商業高等学校 吹奏楽部 ③呉市立横路中学校 吹奏楽部 ④広島国際大学 呉アコースティックギター部 ⑤中四国ハワイアン協会 呉・広教室（フラダンス）に出演いただき、それぞれに演目を披露いただいた。当日は200名以上の方々にご来場いただくなど、地域交流を深めた。



成長度

1. どのような課題に直面し、（それを乗り越えるために）どんな苦勞がありましたか。

初めての開催ということで、出演団体の選定、事前準備、各出演団体との調整、当日の運営等においてその都度問題が発生した。

例えば、

①大学近隣に位置する音楽系の団体は、どこがあるか？その中で、どの団体にどのようにして出演依頼を行うか？

②開催場所はどこで行うか？体育館か？メディアホールか？

③芸能人等のいわゆる名前だけで客が呼べる方の出演がない中で、どのようにして集客を行うか？

④当日の段取りをどうするか？人手が少ない中で、どのように運営するか？

などの課題があった。

課題の中には学内のみでは解決できないものもあり、出演者を含む外部の方々との調整などに苦勞した。



2. その課題をどのような努力や工夫で乗り越えましたか。

①近隣で活動している団体等を全く把握していなかったため、外部の方々に情報提供を求めた。例えば、毎年広市民センターで広地区音楽祭を開催されている広まちづくり推進協議会、呉のタウン誌制作会社などに直接情報を聞くことで、候補を挙げていった。

②開催場所について、音楽系の団体が演奏できる場所は体育館が適当であった。しかし、体育館は市民交流フェスタ当日に同時開催された大学祭で軽音楽部等が演奏することとなり、調整が困難であった。また、体育館にはイスが設置されていないため、イス等の設営の問題もあった。一方、メディアホールの場合、ステージが狭く、演奏者が入りきるかどうかが問題があった。また、大学祭のメイン会場（グラウンド）と離れていることから、集客に問題があった。これらを呉キャンパス大学祭実行委員会、大学教員の方、また出演いただく各団体に相談した。その結果、教員の方からメディアホールの最前列の席を一時撤去し、簡易ステージを設置、ステージを広くすることで演奏スペースを広く取るという提案をいただき、メディアホールでの開催とした。

③イベント広報のため、各出演団体にチラシを配付し、近隣や知り合いの方々に配付いただくよう念入りに依頼した。また、呉市役所、広支所、近隣自治会等へ幅広く広報を依頼した。この結果、当日は予想を大幅に上回る200名以上の来場者があった。

④当日は大学祭が同時開催されており、学生の協力を得ることが困難であった。このため、大学職員の方に協力を求め運営した。また、出演者には、人手不足であることを素直に伝え、舞台転換時の楽器等の移動を出演者にも協力をお願いした。この結果、自分たちのみで行うより、舞台転換が早く行われた。しかし、それでも人手不足は感じられ、今後の課題にもなった。



3. 自分たち（チーム）が一番成長したところはどこですか？理由もお願いします。

一からイベントを企画していくことは、まず計画性が必要になる。そして、実際に準備を進めていく中で、課題が多く出てくる。これらに対して、自分たちで考えて、またあらゆる方々に相談しながら、その解決方法を探っていくかなければならない。学内だけでなく、学外の方との調整も必要となる。こうした課題を一つひとつ解決していくことで、課題解決のための発想力や他者と積極的にかかわっていく積極性などが身に付いたと思われる。

そして何より、コミュニケーションの重要性を強く感じた。何をするにしても、話し合いや働きかけの中から新しい発見や課題解決が生まれ、やはり何事もコミュニケーションをとりながら進めていく必要があるということを学んだ。

最後に、今回のイベント開催にかかわってくださった皆さんに感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

構成メンバー（学部・学科・年次・氏名）

薬学科 3年 平町隆明、伊藤醇 1年 平松知江子